

令和5年度
新潟大学工学部 総合型選抜 入学試験問題

小論文

(電子情報通信プログラム)

注意事項

- 1 この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはならない。
- 2 問題は、全部で1ページである。(落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合は申し出ること。
問題冊子の中に下書き用紙が1枚入っている。また、別に解答用紙が1枚ある。
- 3 志望する主専攻プログラム名を解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
- 4 受験番号を解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
- 5 解答時間は、60分である。
- 6 問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。

近年、大規模な地震や集中豪雨、大型台風などの激甚災害が増加傾向にある。これにより、電力システム、交通・輸送システムや情報通信システムなどの重要な社会インフラが広範囲にわたり重大な損傷をうける事態が度々発生している。防災・減災の観点から、重要な社会インフラには、災害による危機に対するしなやかな強さと損傷からの回復力を具備することが求められている。災害に強くしなやかな社会インフラを構築するために、

① 電気電子・情報通信分野の技術がどのような貢献ができるか

② 今後、どのような電気電子・情報通信分野の技術を開発すべきであるか

の2点について、あなたの考えを自由な発想で述べてください。なお、②については、技術の実現可能性を述べる必要はありません。

(全体で600文字以内)

令和5年度総合型選抜入試 小論文

工学部工学科電子情報通信プログラム

【出題意図】

電子情報通信プログラムで学修する電気電子工学・情報通信工学に関する問題について、自身の意見を論理的に記述する能力を評価するとともに、本分野に関する関心・創造力を評価する。